

市民クラブ

梶 泰久

しずおか自動運転ShowCASEプロジェクトとの連携は

問 静岡県が進めているしずおか自動運転ShowCASEプロジェクトについて、①本市はどのような連携を図っていくのか。②本プロジェクトと連携した新たな公共交通とはどのようなものを想定しているのか。

答 市長／①本プロジェクトは、都市部や過疎地において多様な交通課題がある中、自動運転がその課題解決の手段となり得るのか検証するものである。県が平成三十一年度に実証実験を行う際には、本市が平成三十一年度にEVバスの試験運行を行った沼津駅から沼津港間を対象とするよう要請するとともに、地域にお

改革ぬまづ

岩崎 英亮

定住人口確保に対する考えは

問 本市は中核中核都市として選定されたが、今後の取り組みは。

答 市長／本市は、活力ある地域社会を維持するための中心、拠点であり、近隣市町を含めた地域社会の経済、生活を支え、東京圏への人口流出を抑制する機能を発揮することが期待される都市として中核中核都市に選定された。現在、国において中核中核都市への支援策等が検討されており、この動向に留意しつつ、中核中核都市に関する各市の取り組み状況などについての情報収集や研究に努めていきたいと考えている。

第4次沼津市総合計画の進捗状況は

問 第四次沼津市総合計画の進捗状況に対する認識は。

答 市長／平成二十九年年度末時点において、後期推進計画に掲げる主要七十事業のうち、完了、計画以上進捗、ほぼ計画どおりの進捗となった事業は全体の四分の三の五十二事業であり、計画通りの進捗が図られていると認識している。また、政策の達成度を検証する三十のまちづくり指標のうち、十三指標においては策定時の基準を上回る一方、十七指標においては基準値を下回る状況となっている。本総合計画において、交流人口の拡大などに関しては一定の

志政会

渡邊 博夫

保育所や放課後児童クラブの待機児童対策は

問 保育所等の待機児童について、現状と課題は。

答 市長／①保育所等における待機児童は、平成三十一年一月時点で十一名であり、特定の地域に二丁ズが集中していることが本市の課題となっている。②二丁ズが集中している地域に対し、保育所等の整備を促進するなど、受け入れ人数の拡大を図るとともに、入所可能な施設の情報提供や丁寧な相談対応により、一刻も早い待機児童の解消に努めていく。

公明党

片岡 章一



▲放課後児童クラブの様子